

北陸新幹線延伸反対署名開始

自然保護委員長 澤村秋則

今総会に提案し決議されましたので、早速宣伝を行い、署名活動を開始します。

敦賀～京都～新大阪間は、自然保護および国、地方の財政事情より反対です

敦賀～新大阪間は、2017年に与党が46年開業と決め、現在地質調査中ですが、南丹市などの調査反対により調査すらできていない。路線の大半は用地買収が不要な「大深度地下」（40メートル以下）と言う。

京都盆地には琵琶湖の地下水が眠り、食、観光、伝統産業など経済や暮らしを支えている。水枯れを危惧する声は大手酒造メーカーからも上がっている。

約60キロにおよぶ大トンネルよりヒ素など有害物質を含む大量の残土も出るので沿線住民の不安は募るばかり、一般的に残土は近くに野積み放置されるケースが多いという。

建設費用の3分の1は、沿線の自治体負担となり、京都市など今でも財政難に苦しむところは住民サービス低下を招く恐れが高い。第2の夕張となりかねない。

一部政治家とゼネコンの懐を潤すだけで国にも国民にも役立つとは思われない。自民党の大物議員ですら米原ルートへの変更を公言している。今年の京都市長選では当選した松井孝治市長ですら賛同は明言しなかった。また、京都府民の世論調査では推進は3割、一方の中止など否定的意見は6割とのこと。

署名用紙回収は、たんぽぽ調査回収箱を活用ください。

署名用紙は事務所にあります。また、OWAFメールで送信します。

北陸新幹線の京都延伸にかかる要望書

北陸新幹線の小浜以西の延伸が、京都丹波高原国定公園を縦断し京都市内から松井山手を経て大阪へ伸びるルートで計画され、その環境影響評価の手続きがすすめられています。

それによると国定公園内は長大なトンネルで通過し、第一種特別地域の芦生の森はルートから外すとされています。しかし、事業実施想定区域及びその周辺には希少な動物・植物の生息・生育地や、京都丹波高原国定公園、京都府歴史的な自然環境保全地域（片波川源流域）等が存在する地域です。気候変動による影響も加わりこの地域に生息・生育する動植物・生態系は、絶滅の危機に瀕し生物多様性の喪失が懸念されています。ルート帯には由良川・桂川・鴨川の水源があり「希少植物生育保全地区、管理地区」の雲ヶ畑地域や国の天然記念物深泥池があり、それらの地下水脈への影響が懸念されます。また、レッドデータブック記載のイヌワシやクマタカの生息域でもあり、トンネル工事や工事車両通過に伴う騒音・振動・排気による周辺に生息する動植物や生態系への影響も懸念されます。トンネル工事が出る大量の土砂の搬出先はどうなるのかも問題であり、そもそも自然環境への影響が一番大きなこのルートが費用対効果を見捨ててなぜ選定されたのかも不明です。山をフィールドとして活動する登山者として、京都の山の豊かな自然を守り次世代に引き継ぐために、北陸新幹線の延伸に関し下記のことを要望します。

記

- 1 京都丹波高原国定公園を縦断する現行計画案は、山岳・自然など環境への影響が大きく環境破壊の懸念が生じます。現行ルートによる計画の見直し・再検討を求めます。
- 2 現在すすめられている環境影響評価の手続きにおいては、貴重な自然への影響を専門家はもちろん地域で活動する自然保全団体等の意見を積極的に聞き、その意見をふまえた厳密で十分な調査を行い、結果をすべて公表することを求めます。そして自然環境への影響が明らかになった場合は、計画の凍結・見直しを検討されたい。

	氏 名	住 所
1		
2		
3		
4		
5		

注：この署名で頂いた個人情報は、個人情報保護法に則り適切に保管し利用目的以外に使用しません。

<取扱い団体> 京都府勤労者山岳連盟

〒615-0013 京都市右京区西院松井町 7-1

FAX 075-315-7039

E-mail Kyoto_waf260@dab.hi-ho.ne.jp